

NORTHERN
Horse Park
NEWS RELEASE
ノーザンホースパーク ニュースリリース



報道関係各位

2025 年 5 月 28 日

～春の美しく輝く草花とふれあう^{ひととき}時間～

「梅木あゆみのK's ガーデンガイドツアー」開催のお知らせ

2025 年 6 月 29 日（日）

株式会社ノーザンホースパーク（所在地：北海道苫小牧市 代表者：代表取締役吉田 勝己）が運営する、北海道の大自然のなか、馬とのふれあいを楽しめる自然公園「ノーザンホースパーク」は、「Brilliant Moments～輝く^{ひととき}時間」をコンセプトにサービスを提供しております。このたびパーク内のボタニカルガーデン「K's ガーデン」ガーデンデザイナー 梅木あゆみ氏を講師に迎え、初夏の花が咲き誇るガーデンの魅力にふれ、パーク自慢の食事を楽しめる人気イベント「梅木あゆみのK's ガーデンガイドツアー」を 2025 年 6 月 29 日（日）に開催します。



「K's ガーデンガイドツアー」は花やガーデニング、フラワーアレンジメントを愛する多くのゲストにご参加いただいているパークの人気イベントのひとつで、パークのボタニカルガーデン「K's ガーデン」のプロデューサーで北海道を代表するガーデンデザイナーの梅木あゆみ氏を講師に迎え 2012 年より開催しています。

当イベントでは初夏のボタニカルガーデンを彩る約10種類の草花を使用したアレンジメントブーケづくりをご体験いただいたあと、梅木氏のナビゲートでK's ガーデンを散策します。バラが咲き始めた芳醇な「ローズガーデン」、また純白のアジサイ“アナベル”やユニークな球体のフォルムが人気の“アリウム”など季節の花々が咲く「シーズンズガーデン」などのテーマガーデンを巡るほか、ボタニカルガーデン最奥部に位置する人気のフォトスポット「^{うまみ}馬見の丘」や歴史的名馬の名を冠したモニュメント「ディープインパクトゲート」などパークの見どころも紹介します。

その後はガーデンを一望できる「ガーデンレストラン」にて人気ナンバーワンメニュー「北海道真狩産ハーブ豚と国産和牛のハンバーグステーキ」と、梅木氏がパークの「キッチンガーデン」で育てたエディブルフラワーをふんだんに使用したサラダ、パークのパティシエが当イベント限定で用意する旬のフルーツを使ったスペシャルデザートをお楽しみいただきます。ランチタイムには梅木氏への質問交流タイムを設け、美しい庭作りのコツやさまざまな植物の育て方など、梅木氏から直接アドバイスをもらえる貴重なひとときを提供します。当イベントを通して、ガーデンやガーデニングの魅力にふれ花と緑に癒される豊かなひとときをお過ごしください。

ノーザンホースパークでは今後も「輝く^{ひととき}時間」をゲストの皆様を提供すべく、豊かな自然環境を守り、人と馬がともに生きる持続可能な日本の社会と、馬事文化の発展に貢献すべく運営を行ってまいります。

◆イベント概要

【日 時】2025 年 6 月 29 日（日） 10：00～13：00 ※前日までの予約制

【会 場】K's ガーデン ガーデナーズハウス

【定 員】20 名（予約制）

【内 容】ミニブーケづくり、ガーデンガイド、ランチ（北海道真狩産ハーブ豚と国産和牛のハンバーグステーキ、エディブルフラワーを使用したサラダ、スペシャルデザート、コーヒーまたは紅茶）

【料 金】4,000 円（入園料・税込）

【予約受付開始】2025 年 5 月 31 日（土）9：00 より、お電話にて受付

【ご予約・お問い合わせ】

ノーザンホースパーク K's ガーデンガイドツアー予約担当

TEL 0144-58-2116（9：00～17：00）

※雨天決行。但し、荒天時はガーデンウォークを中止し、屋内にてガーデンセミナーを開催します。

◆ガーデナー 梅木あゆみ氏について



1995 年、生産直売店「コテージガーデン」を起業。年間を通し 2,000 品種以上の植物苗を生産し、札幌市百合が原公園ガーデンショップの売店も経営。国営滝野すずらん丘陵公園、層雲峡温泉から個人庭園などの企画・設計・工事・管理を行う。2009 年度北海道「輝く女性のチャレンジ賞」、2010 年度内閣府「女性のチャレンジ賞」受賞。2020 年コテージガーデン代表を退任し、「あゆみデザイン」開業。

◆ノーザンホースパークについて

1989 年 7 月より、北海道の雄大な自然と馬の魅力を伝え「輝く^{ひととき}時間」を皆様にお届けすべくテーマパークを運営。総敷地面積 48 万平方メートルという広大な敷地に約 80 頭もの馬がゲストを出迎える。競走馬生産育成牧場のリーディングファームであるノーザンファームを母体とし、北海道のサラブレッド生産の歴史や馬の生態を学べる資料館など「楽しむ」だけでなく「学べる」プログラムも展開。また引退競走馬のセカンドキャリア支援や馬の排泄物を利用した堆肥の活用など、事業に基づいた持続可能な社会を目指した取り組みも開園以来行っている。